

宮里老人クラブ新聞 みやわし

2026
7月
第33号

会長：前門 政子
題字：喜屋武磯江
編集：山下 博實

慰霊の日 平和学習会

六月は慰霊の日。みやわし会では6月25日宮里公民館で平和学習会が開かれ、30名余りが参加しました。会場には月桃の花が飾られ、「月桃」の歌が静かに流れます。犠牲者を追悼し、平和を願う穏やかな時間の始まりでした。

前門政子会長のあいさつに続き、新屋千代子さんの司会で学習会が進行します。最初に、今年の沖縄全戦没者追悼式で紹介された豊崎中学校二年・



司会の新屋千代子さん(左)
詩朗読の喜屋武磯江さん



浜田洋子さん

亀谷琉奈さんの詩「生きたいと願った証」を喜屋武磯江さんが朗読。一語一語が会場に深く響きました。

続いて戦争体験の語りでは、浜田洋子さんが六歳で体験した沖縄戦を紹介。空襲の中を逃げ惑い、墓の中で母や妹と身を寄せ合ったこと、何もない戦後の学校生活などを静かに語られました。

この貴重な証言は次号で詳しく紹介する予定です。

喜屋武秀子さんは、収容所で幼い姉と離ればなれになった不安や、ようやく家族が再

会でき一緒に那覇へ帰ることが出来た喜びを回想。また、大切にしていた「シンガポール陥落記念定期預金」、返済時にはタバコひとポールほどの価値しか



喜屋武秀子さん

教えられた「防空壕の歌」を、会場の皆さんは今でも口ずさむ

♪空襲警報聞こえてきたら、今は僕たち小さいから♪

父親が憤る姿が、四歳の心に鮮明に焼き付いていることを話されました。



慰霊の日 平和学習会【宮里公民館】

ことができます。本当の空襲に襲われた時の子どもたちの恐怖はいかばかりだったか、誰もが思いを巡らせられます。



新屋さんは、絵本『すくぶん(使命)』を紹介。ひめゆり学徒隊を率いて負傷兵の看護

「フローレンス・ナイチンゲール記章」となつて実を結びました。

最後は美空ひばりの「一本の鉛筆」のビデオ。「戦争はいやだ」「あなたを返して」という切なる願いに耳を傾けました。

の看護をゼロから築き上げた真玉橋ノブさんの生涯を、絵本とともに丁寧な解説しました。感染症との闘いの中で沖縄医療の礎を築いた功績は、後に看護師最高の荣誉である

夏・♪ 歌声には、戦争のない世界を願う思いが込められています。平和の尊さを思い、伝えていくことの大切さを、参加者一人ひとりが改めて胸に刻んだ平和学習会でした。



絵本「すくぶん」

役員会だより

役員会開催：6月24日(水) 14:00～15:30
議長：前門政子会長 出席：役員7名

議題

1. 沖縄市老人クラブ大会 7/30(木)
功労賞：宮城悦子さん、池原幸子さん
松田政子さん、島袋春子さん
2. 友愛活動担当グループ再打合せ 7/16 定例会後原案作成
3. 慰霊の日平和学習会 6/25(木) の準備について
4. しまくとぅば大会 7/23(木)?
5. バザー・展示会 8月 出展品募集の件

7月月の予定

定例会：毎週(木)10:00～公民館2階
7/2, 7/9, 7/16, 7/23, 7/30 百歳体操と定例会

役員会：

7/15(水)14:00～ 公民館2階

宮里公園：

毎週 (月)(水)(金)(土)：ゲートボールとゆんたく

毎週 (火)：グラウンドゴルフとゆんたく

市老連関連 (詳細は役員まで)

・第51回老人クラブ大会：7/30(木) 13:00～市農研

作品展 8月中旬 作品募集中!

8月中旬に宮里公民館でバザー・作品展示会を開催予定です。

手芸品、工芸品、絵画、書道、写真など、あなたのご自慢の作品を募集しています。

詳しくは宮里自治会までお気軽にお問い合わせください

電話 098-938-4821

地元企業・竹製菓の創業者、竹元三郎さんは、寄付や寄贈を通して長年にわたりみやわし会の活動を支えてこられました。以前は白杖を手に地域を元

「皆さん、こんにちは。みやわし会広報誌『みやわし』第32号をお届けします。皆さん、お元気でお過



竹元三郎さん(右)と友愛訪問の塩川初江さん

す。

友愛訪問の6月18日、塩川初江さんと二人で竹さんを訪ねました。今回の目的は、毎月発行している広

友愛訪問だより 「みやわし」を声でお届け



確かに生きた証を呼び続ける

「平和の礎」

県内各地で行われている「平和の礎」の名前を読み上げる集いが、桑江研市議の呼びかけのもと、6月7日午後5時30分から宮里公民館で開催されました。小学生から高齢者まで22名が参加。沖縄市の



桑江研市議

「ごしょうか……」スマホから5分間ほどにわたって流れる女性のやさしい声に、竹さんは静かに耳を傾けられました。

「とても聞きやすい声だね。誰が読んでいるの?」「音声合成です」とお伝えすると、とても驚かれました。会員の皆さんの元気な活動の様子を聞きながら、「自分たちが活動し

戦没者のうち一千名の名前を交代で読み上げます。みやわし会からも當銘秋子さん達3名が参加しました。

読み上げの集いはオンラインで県内各会場とつながれ、各地へ同時配信されます。手渡された戦没者名簿には、名前とともに亡くなった時の年齢や場所が



「名前を読み上げる集い」に集まった皆さん [宮里公民館]

記されており、年齢は0歳から102歳までと実にさまざま。当時の恐怖や苦しみ、家族や友を必死に叫ぶ姿に思いを寄せながら、一人ひとりの名前を読み上げていきます。